

今治歴史散歩

大成経凡

今治の埋もれた、魅力ある歴史文化を紹介するコーナーです。第38回は、波止浜湾に所在する2基の海中鳥居を紹介し、その由来や現況を歴史散歩したいと思います。

第38回 波止浜湾の海中鳥居 ～龍神社と巖島神社～

●海中鳥居は珍しいのか

“海中鳥居”と聞いて、すぐ思い浮かぶのは、世界遺産の安芸宮島・巖島神社（現、広島県廿日市市）の大鳥居です。高縄半島沿岸の波止浜湾と小部湾には、それぞれ2基ずつの海中鳥居が確認でき、すべて地元石材の花崗岩を用いています。海との結びつきの深さが、それら個性的で希少な鳥居を造立させたのでしょう。

●波止浜・龍神社の由来

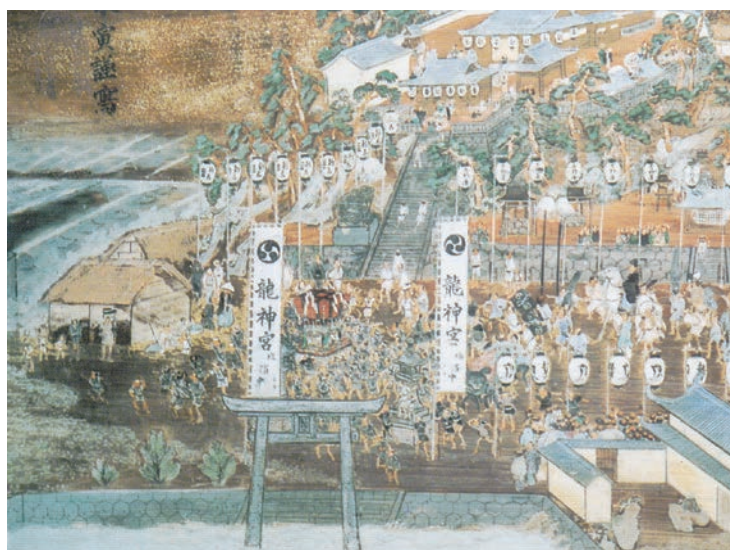
波止浜湾の一つは、龍神社境内そばの地堀川河口にあります。当初は、現在の二の鳥居（昭和15年建立）付近にあったことが、幕末期の同社祭礼を描いた絵馬から分かります。かつてその辺りまでが海で、ここが昭和8～12（1933～37）年頃に埋め立てられた際、現在地へ移築されたようです。

鳥居の刻銘から、江戸中期の正徳5（1715）年5月に建立されたことや、これに波止浜庄屋の平蔵と波止町町年寄の古川七三郎らがかかわったことが分かります。浜庄屋は有力な塩田地主から、町年寄は有力な商人から選ばれました。当時の波止浜は村ではなく、塩浜と町方で構成され、松山藩領の塩田で栄える港町でした。良質な食塩を買い求める船や窯焚き用の燃料（薪・石炭）を売りにくる船などで賑わいました。

神社そのものは、入浜塩田誕生の天和3（1683）年に近江国勢田（現、滋賀県大津市）の八大龍王を勧請し、塩浜と港町の双方の繁栄を願い創建されました。神社を境に塩浜と港町とに分かれ、この鳥居が建立された当時は36軒53町歩余りの塩浜を有しました（1町歩は約1ha）。逐次増築を重



波止浜の龍神社一の鳥居
（2025年4月撮影／右後方に二の鳥居）



絵馬に描かれた龍神社一の鳥居
（龍神社奉納絵馬「遷宮の図」より）

ねることで、幕末期には42軒60町歩余りの規模となり、全国有数の塩田産地として名を馳せることになります。

地元の言い伝えでは、参拝者がこの鳥居をくぐると、潮水の清めで靈験の加護を受けられたとのこと。伝説もあって、毎月1・15日に大きなサメが龍神の使いとして鳥居の下に現われ、これらの日に漁をすると網が破れ、不漁になったようです。現在は、干潮時に堤防そばの階段を下りると鳥居をくぐれるようになっています。

●小浦・巖島神社の由来

藩政時代、波止町対岸の小浦^{こうら}は今治藩領の大浜村に属しました。そしてその湾口には干潮時に地続きとなる弁財天島があり、頂部には巖島神社の祠が祀られ、地元では「弁才さん」の呼称で親しまれています。島とはいっても、実際は二つの岩礁からなります。現在、矢野造船^株の地先からアクセス可能で、波止浜港から来島・小島^{おしま}・馬島へ向かう定期船からも視認できます。潮位の高い満潮時には、現在の昭和54（1979）年建立の鳥居は海水につかります。

今治市内では、弁財天が祀られる小さな島として、能島城跡の一部である鯛崎島がよく知られています。弁財天には七福神のイメージを抱きますが、元来「水」に関係する神様のため、今でも宮窪漁師の信仰を集めています。小浦の弁財天島にも、もとは弁財天が祀られていて、海を生業とする近隣住民の信仰を集めていたと考えられます。かつて安芸宮島の巖島神社も弁財天を祀っていましたが、明治の神仏分離によって島内の大願寺（日本三大弁才天）に移されました。小浦の弁財天も、同じような理由で祀り方が変わり、島名と祠との関係性が疎遠になったのかも知れません。

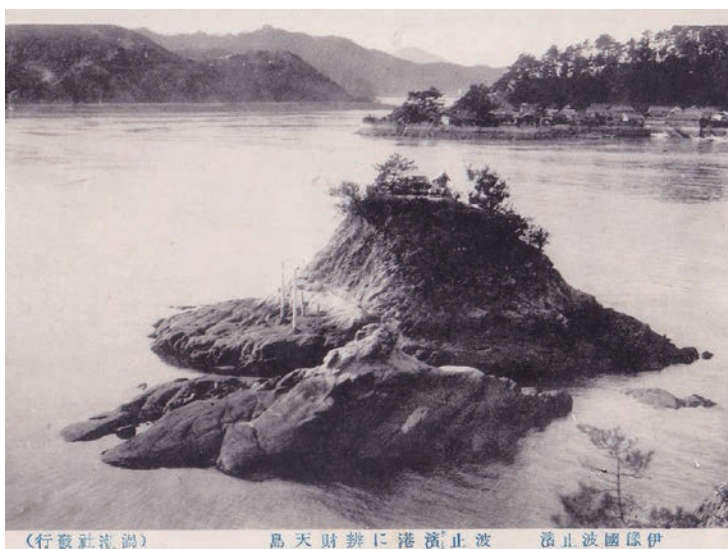
明治初年になると、大浜村と波止町との間で湾内の境界設定が取り決めされたことがあります。その資料図面の中に「弁財天」は記されています（波止浜支所文書）。昭和初年発行の波止浜名勝絵葉書にも「辨財天島^{べん}」は登場し、現在とは違う細身の鳥居と小さな祠がありました。昭和14（1939）

年頃、この付近に俳人の塩崎素月が居宅を構え、これを高浜虚子が「露芦廬^{ろろろ}」と命名するなど、とても風光明媚な場所だったようです。そして短期間ですが、素月は小浦の海岸で電照の真珠養殖事業を行っています。

虚子の姪で、波止浜町長の妻・今井つる女が露芦廬を疎開中に何度か訪ねていますが、弁財天島と小さな鳥居が印象に残ったようです。昭和24（1949）年秋には、小さな祭舟が太鼓を響かせながら弁財天島の周りを渡御^{とぎよ}する光景を目にしています。



小浦の巖島神社鳥居（2025年5月撮影）



昭和初年の弁財天島（絵葉書より／右後方は来島）

第39回は、小部湾の海中鳥居^{くおう}（九王龍神社・宮崎御崎神社）について紹介します。